

くるくるBOX

ハンドルを回すと、らせん状のワイヤーに通したマスコットが行ったり来たり♪
イラストを工夫して、自分だけの作品を作ってみてね。夏休みの工作にもぴったりです！

材料

- * ティッシュ箱 1箱
- * アルミワイヤー(60cm)..... 1本
- * ゼムクリップ..... 2個
- * カラーガムテープ
- * カラー工作紙 (厚紙等でも可)〈約4cm×5cm〉..... 2枚
- * 画用紙〈11cm×24cm〉..... 1枚
- * セロハンテープ
- * カラービニールテープ

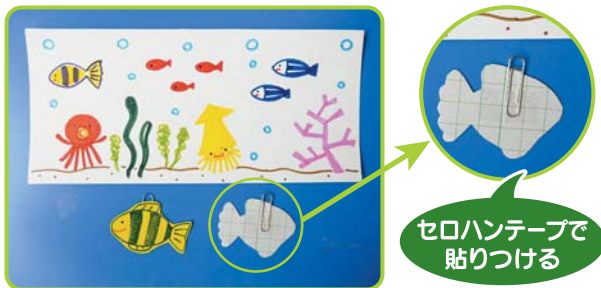
- 1** ティッシュ箱の上部を切り取り、
周囲にカラーガムテープをぐるりと
貼りつける。



- 2** 左右の側面(短い辺)に
めうちで穴を開ける。



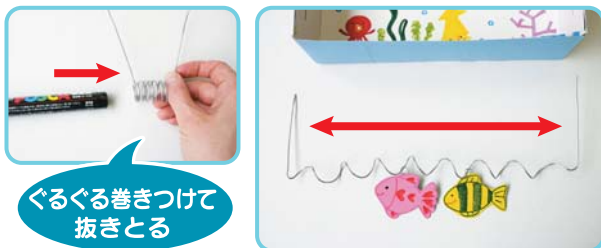
- 3** 画用紙に絵を描く。カラー工作紙(2枚)
にも絵を描いて切り抜き、ウラ側から
セロハンテープでクリップを貼る。



- 4** ③の画用紙のウラにのりをぬって、
ティッシュ箱の底に貼りつける。



- 5** アルミワイヤーをペンの軸などに
巻きつけて(両端7cmくらい残す)抜く。
巻いた部分をティッシュ箱の幅まで
広げて③の工作紙のクリップを通す。



- 6** ⑤のワイヤーを、ティッシュ箱の内側から
左右の穴に通し、両端を折り曲げてハンドル
を作る。ワイヤーの先にカラービニール
テープを巻きつけて、できあがり！



絵本のティータイム 「紙芝居の世界を楽しむ」



5月9日・23日の2回1コースで「紙芝居の世界を楽しむ」の講座が行われ、集まった子育て中のママや読み聞かせボランティアさんが、紙芝居の奥深い世界に触れました。

講師は児童会館の登録ボランティア、水出真弓さんと岡部千尋さん母娘。当館以外でも紙芝居上演者として幅広く活動している二人は、紙芝居の魅力やテクニックを存分に伝えてくれました。「紙芝居は“紙のお芝居”」と語る水出さん。紙芝居舞台や照明、効果音、幕紙など、見ている側のわくわく感を高めてくれるための演出の工夫に驚かされます。講座の中では、拍手などで観客も一緒に演出に加わって楽しむ参加型紙芝居と、じっくりと聞かせて気持ちを引き込む物語性紙芝居を、それぞれに合った手法で実演。圧倒的な表現力で繰り広げられる“お芝居”に参加者の皆さんはすっかり魅了された様子でした。お茶を飲みながらの和やかなティータイムには先生に質問する姿も多く見られ、紙芝居トークに花が咲いていました。

演じ手と聞き手が一体となって楽しめる紙芝居の魅力を一言で言うと「共感」という二人。講座の中では「小さな子ども向けには無理に物語を演じず、絵を見せてクイズにしたりと“遊ぶツール”として使ってもいい」など自由な発想で紙芝居を楽しむアイデアも紹介。児童会館子ども図書室でも紙芝居を閲覧できますので、ぜひみなさんも手にとってみてくださいね。

第13回 全国紙芝居まつり群馬大会
「～渋川・伊香保～あっちこっち紙芝居」
8/31(土)10:00～11:00
くわしくは全国紙芝居まつり群馬大会公式ブログ
<http://2013gunma.seesaa.net/>
をご覧ください。

いきいきママ講座

「ぶきっちょママでもできる！ スクラップブックキング」

5月24日のいきいきママ講座はクリエイティブメモリーズ公認アルバムアドバイザーの大槻佳子先生をお迎えして、20人のママがスクラップブックキングに挑戦しました。写真を切り抜き、ペーパーなどで飾りつけてコメントを書き加え、台紙に貼って楽しく思い出を残すスクラップブックキング。この日は初めてトライするママがほとんどでしたが、先生のアドバイスを聞きながら、専用の道具を使って家族の写真を思い思いに飾りつけ、とっても素敵に仕上げていました。ママ手書きのコメント(ジャーナル)を入れる事で、さらに生き生きとした作品になるのが印象的でした。

将来、子どもたちにアルバムをプレゼントできたら、という思いからスクラップブックキングを始めたという先生。目で見ても楽しくいつでも手に取れるので、アルバムを囲んでおしゃべりする家族団らんの時間を作り出せる事が、最大の魅力と話してくださいました。

まずは、撮りためた写真がデータのまま...という方は印刷して手にとれる形にしておく事がとても大切、と話す先生。思い当たったらこれを機にぜひ実行してみましょう。きっとちょっぴり前に撮った写真を手に、みんなでおしゃべりに花が咲きますよ♪

